

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	消防総務課担当課長 芥川 忠	
消防-01 消防運営事業		☒ 自治事務	主管課	消防総務課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全		施策の方針
				消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防職員等
意図	職員の健康管理、事務の効率化、各団体との情報交換等を実施し、消防業務の円滑化を図るため。
効果	職員の元気回復・体力増進、消防業務の効率化を図り、県、国レベルでの災害応援要請等があった場合の活動体制を確立し、迅速な活動をめざすとともに各自治町内会、企業等、地域ぐるみの市民等の防火防災意識を深めることができる。

2 平成26年度に実施した事業の概要

旅費、各署所光熱水費、負担金等の執行、事務用機器の賃借及び職員への被服の貸与など消防にかかる一般事務を行う。
職員の元気回復その他厚生に関する事項について計画を実施する。市内各自治町内会、企業等に消防出初式への参加を通じ、防火防災意識を高める。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人 口	177,243人	人 口	177,464人	
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	53,287	決算値(千円)	48,977	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	3,740	その他	2,512	
	一般財源	49,547	一般財源	46,465	
	人員配置数	4.3	人員配置数	4.3	
事業経費運営	人件費(千円)	35,506	人件費(千円)	33,912	
	総事業費(千円)	88,793	総事業費(千円)	82,889	
	市民1人当りの経費(円)	501	市民1人当りの経費(円)	467	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	職員の研修について、派遣する際、警備人員の関係上、派遣人員が制限されている状況である。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	限られた人員ではあるが、人員補充などを行いながら、可能な限り職員を派遣した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題 新たな課題	警備人員の関係上、研修への派遣が、満足できる結果に達しなかった。	

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	☐ a:事業内容を見直す ☒ b:事業内容は現状通りとする ☐ c:事業を休止又は廃止する ☐ d:他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒	見直しの種類	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	
	⇒					
予算規模の方向性	☐ A:予算規模を拡大する ☒ B:予算規模は現状維持とする ☐ C:予算規模を縮小する		事業内容・予算規模の方向性設定の理由	職員に専門知識を取得させることを最優先に考えるため、限られた人員の中、内部努力で人員補充等を行いながら、これからも継続的に職員を派遣したい。		
総評	法令等を遵守し業務を遂行するにあたり、最新の内容の研修を受講し、適正な事務処理及び現場活動を実施することが必要である。消防出初式を、市民に対する防火防災意識を高める場として、今後も継続して実施する必要がある。					

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		職員研修による知識等の向上					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
専門的な知識を取得させ、市民サービスに反映させるため。		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
		実績値	70.0								
		達成率	70.0%								
指標の内容		消防出初式開催による防火意識の向上					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
市民に対し、積極的に防火防災をアピールし、さらに、消防行政への理解を深めてもらう。		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
		実績値	100.0								
		達成率	100.0%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
		目標値									
		実績値									
		達成率									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
		目標値									
		実績値									
		達成率									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
		目標値									
		実績値									
		達成率									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
		目標値									
		実績値									
		達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方		専門知識を習得させ、多種多様化する災害に対応できる組織体制の確立を目指す。出初式を実施し、防火防災意識を向上させるとともに、消防業務への理解を深めてもらう必要がある。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---